


学ハロ大阪新聞

発行所
 厚生労働省 大阪労働局
 大阪府府庁4階ハローワーク
 〒530-0017
 大阪市北区角田町8-47
 阪急グランドビル18階
 TEL 06-7709-9455
 FAX 06-7709-9458
<http://osaka-young-jstite.rhlw.go.jp>

第15号

2015年1月16日

 大阪新卒応援ハローワーク



2 3 くるみん取得
 2社に聞く
 4 地方自治担う
 2女性が意欲

業界研究カフェテリア、2月12日オープン

百貨店、航空など13業界、講演も

「業界カフェテリア」は社
 会人経験の浅い若者に、各業
 界出身のジョブサポーター

(JIS) が仕事内容や成長性、
 求められる人物像、やりがい
 などを伝える目的で始まった。

大学や短期大学、専門学校の
 在学生(1~4年生)や35歳
 未満の若者を対象に今年で3
 回目を迎えた。

今回はオープニングセミナー
 として、ジャーナリストの石
 渡嶺司氏が「ネット就活の限
 界」と題し講演する。石渡氏
 は「就活のバカヤロー」「就
 活のコノヤロー」などの著者
 で、ネットを通じたエントリー
 や就職活動の問題点を指摘し
 てきた。

裏ネタ、採用のポイント 経験者が伝授



昨年開かれた業界カフェテリアの会場

大阪新卒応援ハローワーク



「わかもの就職面接会」未
 経験から育てます」が1月
 27日午後1時から、大阪市北
 区の阪急グランドビル26階で
 開かれる。
 未経験の若者を一から育て
 ようという損保や不動産、ア
 パレル、食品、電鉄、製造業
 など20社が参加する。募集職
 種は総合職や営業、販売、経
 営企画、管理部(総務、経理)、

20社「未経験から育てます」 1月27日、就職面接会

各ブースでは、百貨店や航
 空、建設、IT、金融、アパレ
 ル、旅行、不動産、マスコミ、
 食品メーカー、医薬品メーカー、
 文具・事務機器メーカー、化
 粧品の13業界と、事務職、営
 業職、製造職の3職種につい
 てJISが30分程度で仕事内容
 などを説明する。

ホテル運営職など多彩だ。今
 年3月卒業予定の大学、短大
 専門学校生(留学生含む)や、
 35歳未満の若者が対象。
 参加希望は履歴書、ハロー
 ワーク紹介状、ハローワーク
 カードを持参し、直接会場へ。
 企業への事前の応募連絡は不
 要。問い合わせは大阪新卒応
 援ハローワーク、電話06
 (7709)9455へ。

学生たちは興味関心のある
 業界ブースを渡り歩き、それ
 ぞれの仕事内容について理解
 を深める仕組みだ。業界の裏
 ネタや給与や休みの実態、採
 用試験の突破方法など、経験
 者ならではの生々しい話が聞
 ける。
 時間は午後12時半から17時
 (正午から受付開始)。途中
 の入退場は自由。事前予約が
 必要となる。問い合わせは大
 阪新卒応援ハローワーク、電話
 06(7709)9455へ。

子育て後のキャリア描き、業務邁進

女性を積極的に採用、登用する企業が増えている。特に「くるみん」取得企業は従業員の仕事と子育ての両立を積極的にサポート。就職活動中の女子学生の人気も高い。今号では「くるみん」を既に取得している「レンゴー」と「佐川急便」の人事担当者に、取得の目的や社員の意識の変化などについて聞いた。

2015年新卒採用 女性総合職3割にアップ

●レンゴー



「次世代行動計画の策定は、2005年の対策推進法の施

行時から取り組んできた。実施する以上は、実のあるもの

にしたいの思いが強くなった。レンゴーの人事部女性活躍推進室長はこう強調する。同社は日本初の「段ボール」製造販売会社として1909

(明治42)年に創業した。現在では、板紙から段ボールまでの一貫生産に加え、印刷紙器やフィルム包装など消費者包装分野、ポリエチレン重袋など重包装分野まで、あらゆる包装ニーズにこたえる総合パッケージング企業である。

次世代行動計画については、これまで3回、基準適合一般事業主として厚生労働省大阪労働局から認定を受けている。社員約3700人に占める

女性の比率は1割以下に留まっている。「女性が少なく、どうしても男女で意識の温度差はあるが、男性を含めた働き方の見直しは他人事ではない、という意識を全社に喚起するきっかけになった」と推進室長。

「女性が働きやすい環境を整えることで、能力を十分発揮し、業務に邁進してもらいたい」と成果を語る。主な制度では、育児短時間勤務や子の看護休暇は小学校3年修了前まで利用できる。復職後の勤務をサポートする制度もある。

特に第三子以降の出産祝い金を百万円と大幅に引き上げた。「子どもを生み育てやすい環境づくりが狙いだ。社員

が少子化問題への意識を高める契機にもなった」。

2006年4月の導入から14年11月まで、延べ231人が受給した。

現在は、男女とも育児休業を取得しやすく職場復帰しやすい環境整備に力を入れる。例年女性の総合職採用は2

割程度だが、2015年の新卒採用については、3割にアップした。引き続き、女性の積極採用を進めるとともに、女性が活躍する職域を広げる意向だ。

「例えば営業職。得意先を回るルート営業が中心だが、女性が自身の殻を破り、男女区別なく挑戦して欲しい」。

キャリア形成を支援するため、女性だけの研修も行った。写真Ⅱは昨年10月。

「5年後、10年後のキャリアプランを女性自身がどう描くか。やりがい、働きがいを持って仕事で活躍してくれると会社も期待している」。

施策の実施と周知に推進室の活動は続く。

厚生労働省はこのほど、次世代育成支援対策推進法(次世代法)の改正に伴い、新しい「くるみんマーク」Ⅱ写真Ⅰと「プラチナくるみんマーク」Ⅱ写真Ⅱを作成した。



「くるみん」新しく



認定を複数回受けている企業を評価し、取得回数が目で見えるよう回数に応じて星が増えるデザインにした。

「プラチナくるみん」は、くるみん取得企業のうち、さらに両立支援が進んでいる企業が一定基準を満たし特例認定を受けた場合に表示できるマーク。マントと王冠を付け、取得企業よりも両立支援の取り組みが進んでいることを表現した。

環境整備で女性の活躍、もっと

「毎度ありがとうございます」
一。元気な声が梅田や堺筋のオフィス街に響く。心齋橋などの商業地区やオフィス街で、より顧客に密着したサービスを展開するセールスデリバリー職だ＝**写真**。半径250—500mの範囲内にある50から70社の法人を担当。専用の台車を使い、書類や小物、商品などを集荷、配達する。

「弊社は男性の会社、というイメージが強いかもしれないがここ数年、多くの女性が活躍している。女性ならではの発想やアイデアでお客様のニーズに応えるのが目的だ。会社の成長に女性社員の活躍は欠かせない」。同社の採用担当者は強調する。

女性従業員の内訳を職種別で見ると、営業系（セールスドライバーやサービスセンタースタッフ）は現在、約4割まで増えており、事務系に迫る勢いだ。営業系の職域に対し女性の進出が拡大している、といえよう。

例えば宅配業務では、通信販売の拡大で、女性配達員を求め顧客も多いという。「通販の顧客は、仕事をしている一人暮

らしの女性が多く、夜間に荷物を受け取るケースが多い。マンション住まいの女性も多く、配達員が女性だと、夜でも安心だ、との声を聞く」。

トラックに乗る軽四セールスドライバー職でも女性社員が活躍。大きく重たい荷物は男性社員がカバーする体制も整っている。「男女が共に働きやすい職場環境。それを今、目指している」と採用担当者は力を込める。

同社がくるみんを取得した



働きやすさ求め職場の意識改革進める

のは2014年5月。SGホールディングスグループが2011年にグループ収益の30%を女性が担う体制をスタートさせたのに合わせ、佐川急便もワークライフバランス推進へ、仕事と育児・介護が両立できるよう職場環境の整備を進めた。

例えば、育児休業期間は満1歳までを、満3歳までに延長した。育児短時間勤務の期間については、満3歳までを小学校就学前までに伸びた。子の看護休暇では、1人の場合、年5日が10日に。2人では年10日が20日になった。介護休暇期間も93日から180日に増えた。介護休暇も年5日が10日になった。

また、グループ横断のプロジェクトである「わくわくウイメンズプロジェクト」が2011年から開始。乳がん検診など婦人科検診の費用補助制度であるウイメンズ検診や産休・育休者支援セミナーを実施している。

「いろいろなライフスタイルに合わせ仕事の環境や職場の風土の改善へ意識改革を進めていきたい」。採用担当者は意欲を見せている。

「くるみん」取得、2社に聞く



業界カフェ、ぜひ参加を

大阪新卒応援ハローワークでは、いよいよ3回目の受け入れを開始しました。そこで社会人経験の浅い若者に対し、各業界出身のジョブサポーターが仕事内容などを伝える「業界研究カフェテリア」を2月12日に開催します。これから就活を始める方、一旦、就活を休んでいた方も新たな就活のきっかけになると思います。また、今号も前号に引き続き女性が活躍している企業、活躍を考えている企業を取材しました。この記事も業界研究の一つにしていただければと思います。是非お読みください。

「知って役立つ労働法セミナー」 35歳未満に受講拡大

「時間外や深夜の割増賃金はどうやって計算するの」「きょう会社から自己都合で辞めてくれ、といわれた。これって違法じゃないの」。大阪新卒応援ハローワークの「知って役立つ労働法」セミナーでは、若者を対象に、就職に関わる労働関係法令のあらましを解説している。その参加対象者がこれまでの現役の学生ならびに既卒3年以内から、35歳未満に拡大、1月28日のセミナーから受講できることになった。

セミナーは、大阪労働局労働基準部の担当者が講師を務め毎月1回、大阪新卒応援ハローワーク内で実施している。労働契約と解雇、賃金、労働時間と休憩・休日などを分かりやすく解説。時間外手当の計算方法も伝授している。昨年、4年生大学を卒業した20歳の男性は「労働の対価はしっかり受け取りたい」と思いセミナーを受講した。就職を前に労働契約と賃金について、基本的な内容が理解できた」と話している。

子育てと両立、長く働ける仕事を

就活日記番外編 15

「子育てと両立し長く働ける仕事がしたい」。地方公務員を志望した二人の女性だが、周りが次々と就職を決めていく中、焦りと葛藤が募る。「進学か就職か」「このまま公務員でいいのか」。不安を抱えながらも信念を貫いた軌跡を振り返る。

公務員志望のきっかけは。

A アルバイト先の区役所で子育て中の女性が生き生きと働く姿をみた。公務員なら時短休などの制度を活用し、男性と対等に働き続けることができると感じた。

B 私も長く働ける点を重視した。自分で収入を得て、結婚後も働き続けられる仕事を、と考えた。

就活はどう進めたのか。

A 臨床心理士の資格を取るつもりで大学院へ。親の期待も強かった。だが、私は人の悩みを聞くことに向いていない。むしろ紙に悩みを書き、自己洞察をする筆記療法の研究を続けたいと思った。ただ、研究職は安定した仕事ではない、と反対の声もあった。一方で大学院の教授は「やってみれば」と。就職か、後期博士課程か。心も揺れ、葛藤の日々が続いた。

B 3回生の夏から公務員試験の塾に通った。企業説明会にも足を運んだ。長く働ける企業か、「くるみん」を取得しているか、しっかり確認した。試験勉強も年末を迎え、もう引き返せない。公務員受験は周りに秘していた。大学のゼミは課題の提出も厳しく、試験勉強との両立が大変だった。

A 町役場職員の募集はHPで見つけた。公務員試験の勉強もしていなかったのが自信はなかったが、願書ももらいに町役場に行く。町は落ち着いた雰囲気だ。パンフレットをもらい町のことを調べた。幸運にも筆記試験は通過。面接日は休日だった。役場の入口が分からず戸惑っていると、通りがかりのおばあさんが「入口はあっちだよ」。気さくな親切がうれしかった。人口も少なく住民と親密になれるような町だ。安心感のある雰囲気だし、もしかしたら自分に合っ

ているかも。そう感じた。

B 受験した市は住みやすそうなイメージがあった。友人も住んでいたし。開発が進む住宅地や商業施設、大きな公園など、地元にとって当たり前の場所は自分の目で確認した。古びたイメージを持っていた町はとてもおしゃれ。大きな公園はスポーツ振興に利用でき



る。これから発展する市だ、と感じた。若い人にどんどん来てもらい、町が変化していく過程に関わる。そんな仕事がしたいと思った。

就活で大変だった時期は

A 病院事務職などに応募したが「大学院を出てどうしてこの仕事を」と、絶えず尋ねられた。私は大学でも院でも好きな勉強に打ち込んできた。頑張って成績優秀賞もいただいた。なのになぜ、評価されないのか。不採用通知を見るたび「研究職に戻ろうか、でも先は見えないし…」。「安定のためには就職したほうが、でも…」。この繰り返しだった。

B 冬場は朝10時から夜10時までひたすら勉強。模試の結果でその成果を判断するだけの毎日だった。友人はさっさと大手企業に就職が決まる。「あーっ、私も大手に行けたんちゃうか」。勉強にも飽き飽きし、集中できずイライラ。

7月に初めて政令市の筆記が通った。これが自信になった。「ここまでやってきたんや。落ちたら意味がない。やっとチャンスが来た

関西学院大学経済学部4回生 大阪府の市役所(Bさん)

人生 生きる覚悟が

んや」。本気で前向きになれた瞬間だった。就活は人生で一番大変な時期。これを乗り切れば、多くの苦しみも乗り越えられるはず。受験と比べやはり重みが違う。大学や下宿、塾の費用すべては親の支援があつてこそ。やがては一人で生きていかねばならない。人生を生きる自信と覚悟が生まれた。

A 町役場の面接では初めて、学業の成果を褒められた。大阪マラソンの参加など自分が打ち込んだことを聞いてくれたことがうれしかった。就活をして初めて自分が認められたんだ、と感じた。イベントに参加する家族連れ、遺跡や祭り。親切なお年寄りに、私を認めてくれた職員…。優しい言葉をかけてくれたこの町の人たちのように、私もなりたいな、と心から思えた。

大阪新卒HWはどう利用したか。

B 友人に勧められた。模擬面接や見た目を大切にする講座が役に立った。面接は内容勝負と思っていたが、どのセミナーも印象の大切さと入退室をしっかり教えてくれた。ビデオ



で自分が歩く姿を見て「覇気がない歩き方だ。足が上がって見えないように見えるな」と。その後の面接では、印象を良くすることを一番に心掛けた。

A キャリアセンターで知り、模擬面接を主に。緊張感と練習、フィードバックが参考になった。

公務員志望者へ伝えたいことは。

A 院生の就職は難しいが、好きな研究に力を注いでいるという本気の姿勢を伝えると、必ず評価してくれる人がいる。

B 試験本番は想像以上の緊張感がある。勉強も面接対策も早めに始めるとよい。人と話す機会を持ち、感性を磨くことも大切だ。

神戸女学院大学大学院人間科学研究科修士課程 兵庫県の町役場(Aさん)

面接で認めてくれた